

日経SDGs経営調査
日経スマートワーク経営調査
～参加を検討されている方へ～

NIKKEI-R

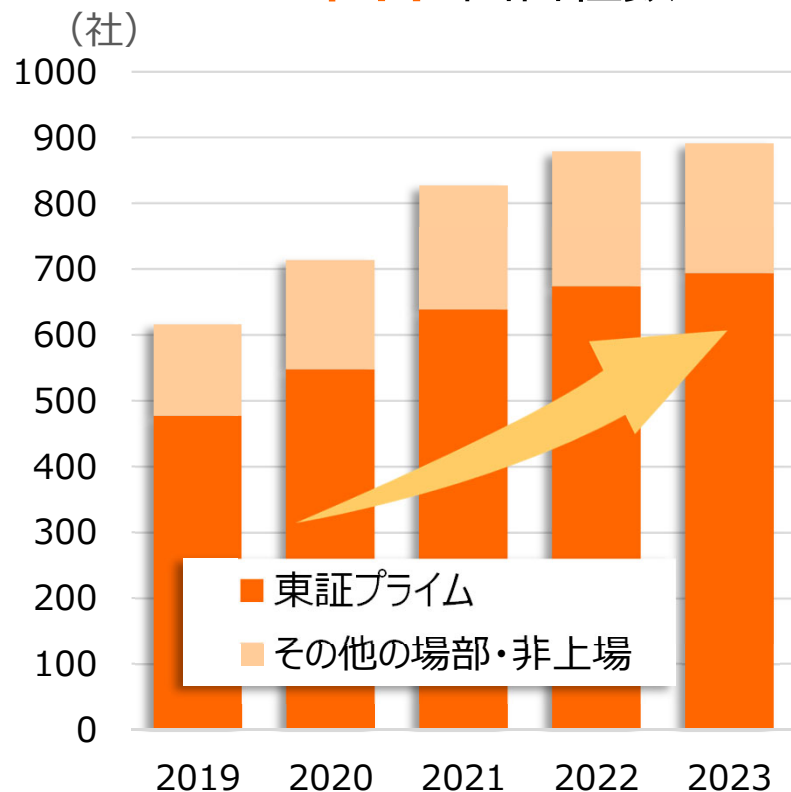
日経リサーチ

- 参加企業には新聞掲載・無償で使えるロゴ配布の特典があります
- 特に参加をお奨めします！
 - ✓ 統合報告書を発行している企業
 - ✓ 各種認定を取得している企業
 - ✓ 人的資本開示をこれから充実させたい企業

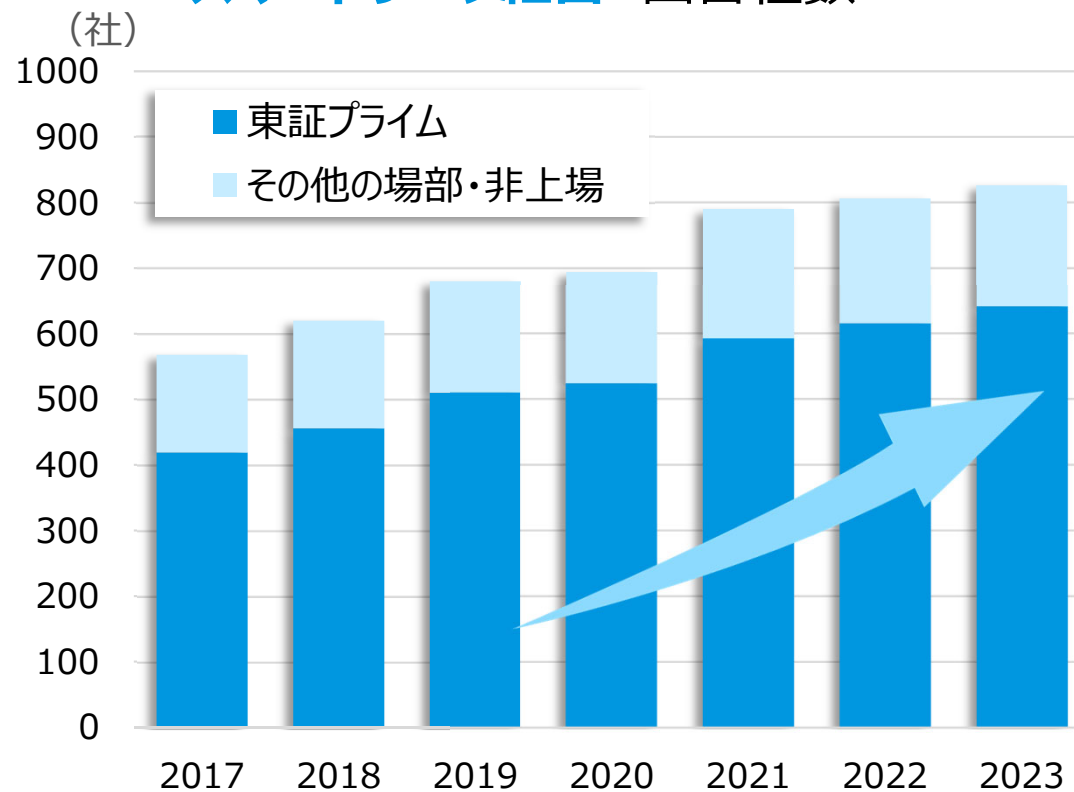
参加企業が年々増加しています

- 回答企業は年々増加
- 特に東証プライム上場企業（2024年5月時点）の増加が顕著
- 日経225企業は例年8割以上が回答しています

SDGs経営 回答社数



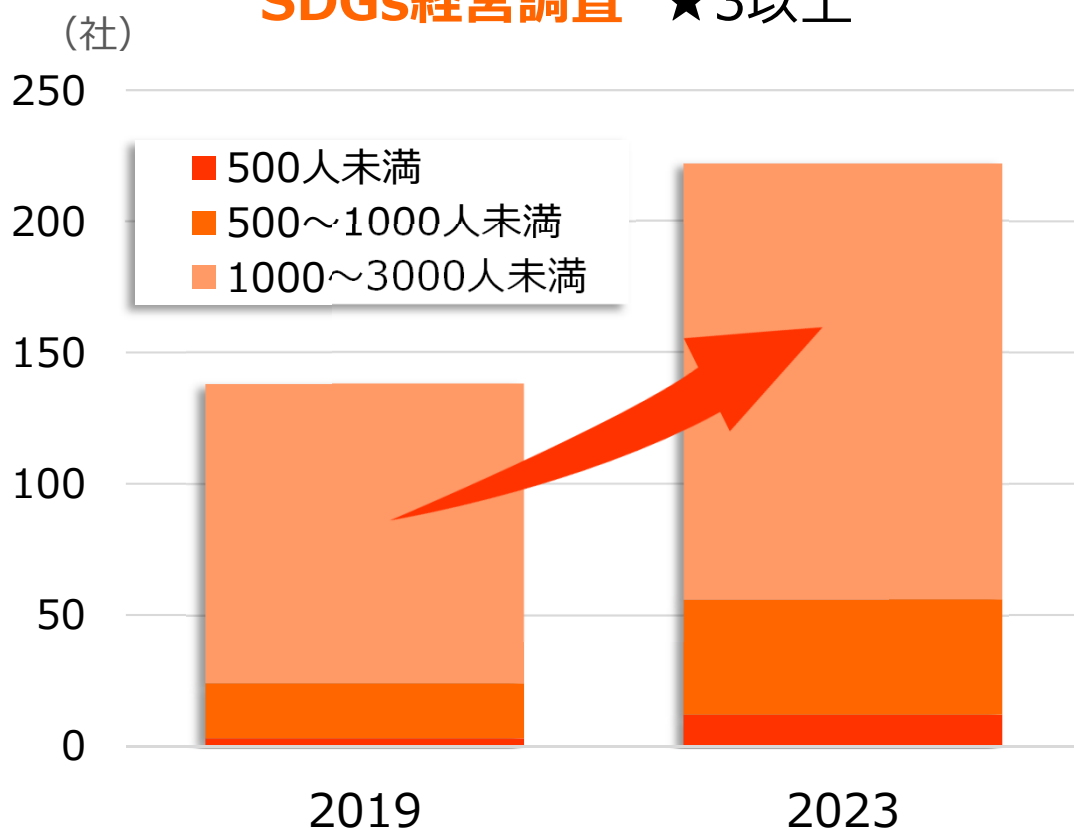
スマートワーク経営 回答社数



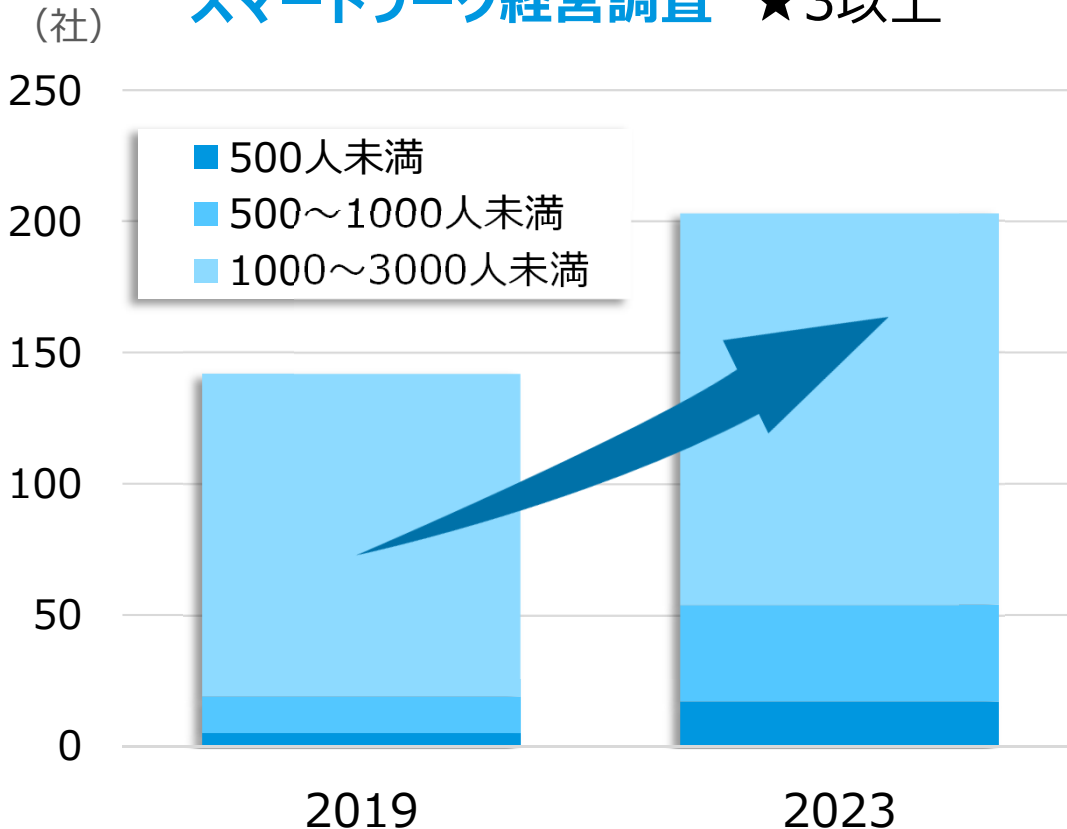
中堅企業でも★3以上獲得企業が徐々に増加

- 最上位企業は大企業中心ですが…
- **掲載・ロゴ配布対象**となる★3以上でみると中堅企業も増えています
- まずは★3（偏差値50）を目指してみませんか

SDGs経営調査 ★3以上



スマートワーク経営調査 ★3以上



*人数は人材活用力の回答のベースとなる正社員数

★3以上の企業向け特典

- 日本経済新聞に分野別評価と格付けが掲載されます
(★2.5以下は回答企業一覧のみの掲載です)
※SDGs経営調査とスマートワーク経営調査それぞれ掲載されますので
両方回答し、両方で★3以上を獲得すれば2回掲載されます
- **★付きのロゴ**が配布されます
ロゴは無償で自社のHPやニュースリリース、統合報告書などに使用可能
(「第三者評価」「認定」などの一つとして掲載している企業多数)

NIKKEI
SDGs
経営調査 2023 ★★★★★

NIKKEI
Smart Work
★★★★★ 2024

新聞には掲載されない自社のスコア詳細をフィードバックします

▼大分類評価



▼中分類評価

SDGs戦略・経済価値	今回 偏差値	前回 偏差値
方針	30.0	31.0
報告とコミュニケーション	70.0	71.0
推進体制・社内浸透	50.0	51.0
ビジネスでの貢献	44.0	45.0
業績	53.0	54.0

環境価値	今回 偏差値	前回 偏差値
方針	30.0	31.0
脱炭素の推進	70.0	新分類
温暖化ガスの把握・削減	56.0	57.0
消費電力の把握・削減実績	75.0	76.0
持続可能な資源の活用・生物多様性	25.0	新分類

社会価値	今回 偏差値	前回 偏差値
人権の尊重	36.0	37.0
社会課題への対応	56.0	57.0
労働時間・休暇	75.0	76.0
ダイバーシティ	70.0	71.0
人的資本経営 ※	100.0	80.0
人的資本開示	統合	-

ガバナンス	今回 偏差値	前回 偏差値
ガバナンス方針と実効性	32.0	100.0
取締役会	50.0	110.0
株主対応・株式保有	60.0	120.0

CODE: 9999 貴社名: サンプルレポート



＜分野別評価＞

	人材活用力	イノベーション力	市場開拓力
貴社評価	A+	A	B++
貴社偏差値	57.0	49.3	44.9
(前回)	50.5	52.5	45.6

【評価と偏差値の対応】

偏差値70以上: S++
 65以上~70未満: S+
 60以上~65未満: S
 55以上~60未満: A++
 50以上~55未満: A+
 45以上~50未満: A
 40以上~45未満: B++
 35以上~40未満: B+
 30以上~35未満: B
 偏差値30未満: C

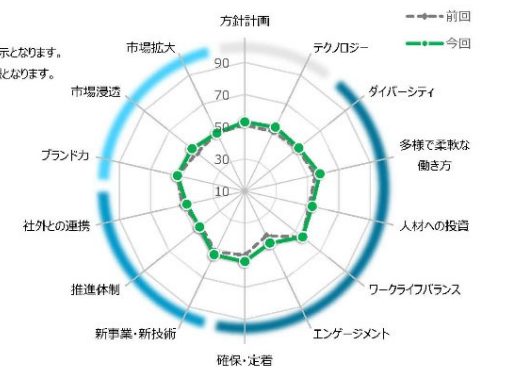
＜分野別 評価ごとの社数分布＞ ※薄緑色の欄は貴社の位置になります。

	S++	S+	S	A++	A+	A	B++	B+	B	C
人材活用力	8	35	84	144	176	151	111	52	35	38
イノベーション力	28	50	68	101	140	151	126	170	0	0
市場開拓力	46	22	57	91	141	163	198	113	3	0

＜各指標の貴社偏差値＞

※記者評価については、偏差値非公開となっております。ご了承ください。
 ※3分野にまたがる「方針・計画」「テクノロジー」については、3分野合計の偏差値での表示となります。
 ※配点は、昨年と全く同じというわけではありませんので、前回偏差値はあくまで参考情報となります。

貴社偏差値 (前回)	
【3分野共通】	
方針・計画	53 / 51
テクノロジー	54 / 51
【人材活用力】	
ダイバーシティ	53 / 52
多様で柔軟な働き方	58 / 55
人材への投資	53 / 51
ワークライフバランス	56 / 56
エンゲージメント	46 / 41
確保・定着	54 / 50



参加企業ロゴが使用できます (スマートワーク経営調査のみ)

NIKKEI
Smart Work

Company 2024

■ 統合報告書を発行している企業

- ⇒ 統合報告書の内容でそのまま回答が作成できる設問もあります。
- ⇒ 特に**SDGs経営**への参加をご検討ください。

■ 各種認定を取得している企業

- ⇒ 働きがいのある企業認定、DX認定などを取得している場合、一部分野の設問で高評価を得られる可能性があります。
- ぜひ自信のある分野の数量値・自由記述を重点的にご回答ください。

■ 人的資本開示をこれから充実させたい企業

- ⇒ 調査票は、開示をすることが評価される指標を中心に作成しており、当調査の回答、特に数量値を回答するために集めたデータはそのまま開示でも使用できるものが多くあります。
- ⇒ フィードバック資料から、貴社がアピールしやすい分野を知ることができます。
- ⇒ 特に**スマートワーク経営**への参加をご検討ください。

★3を目指すには

- 調査票のボリュームは非常に多いですが、上位企業の差をつけるための設問も多いです
- ★3（偏差値50～）を目指す場合、必ずしも全ての設問を埋めなければいけないわけではありません ※以下のグラフはスマートワーク経営調査の例 ↓

■ MA（いくつでも）

自社の取り組みや採用している制度をチェックします。回答しやすい設問なので、**8割以上**の回答を目指します。

■ SA（ひとつだけ）

具体的な数字では回答しづらい数量値などが該当します。おおよその水準でよいので、**7～8割以上**の回答を目指します。

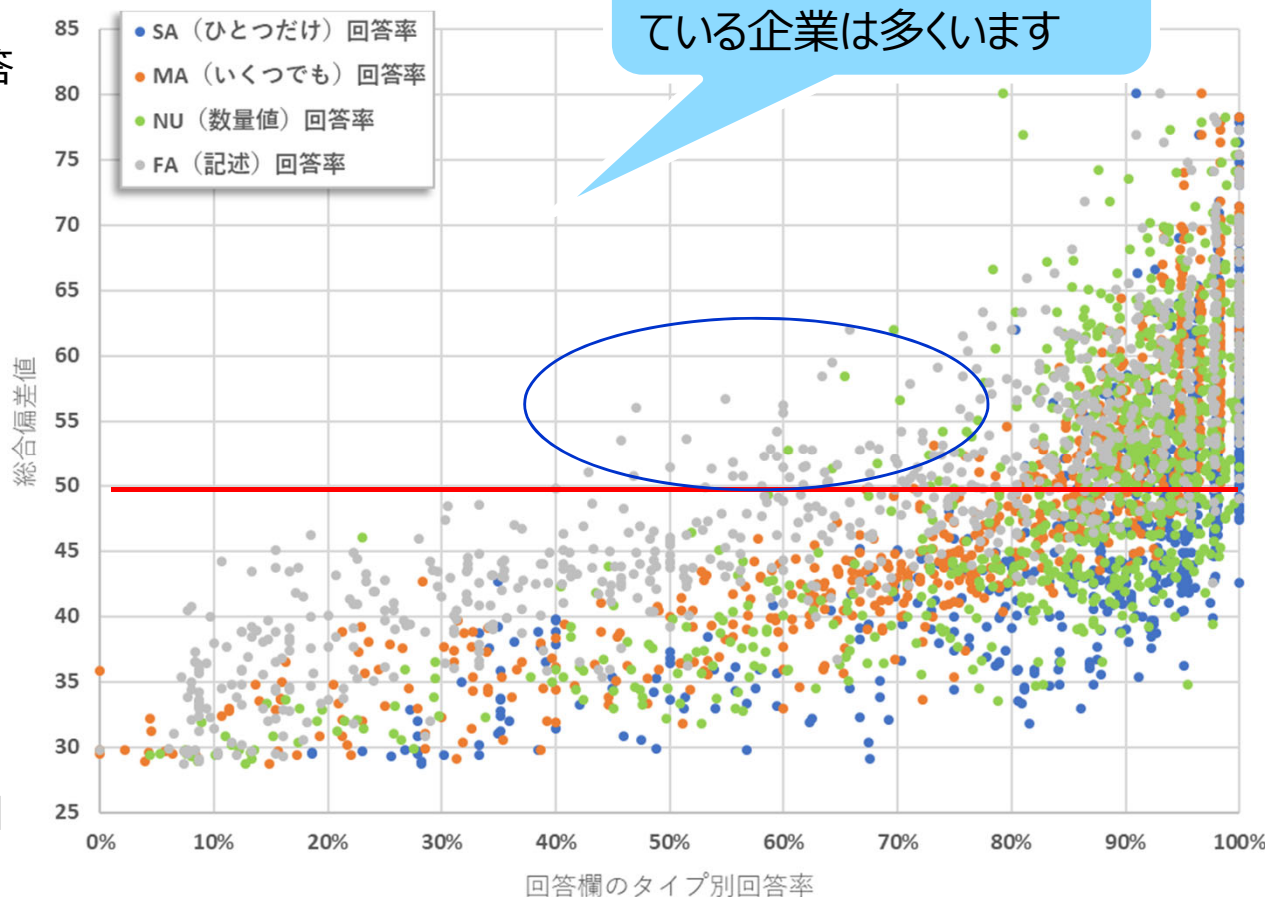
■ NU（数字で回答）

回答の難易度が上がりますが、評価との相関が高い回答タイプです。特に「基本情報」は多くの設問で使われる重要なデータなので優先的に回答し、**6～8割**の回答を目指します。

■ FA（記述式）

回答しても必ず得点が入るわけではないため、評価との相関が低いです。★3を目指す場合は**自信のある箇所以外、無理に埋める必要はありません。**

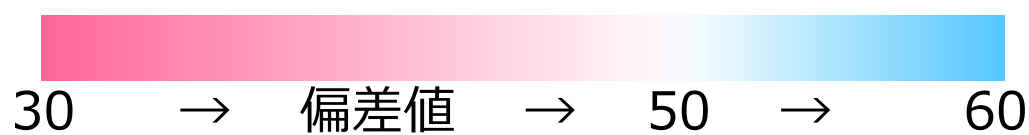
記述式設問の回答率が低くても、偏差値50を超えている企業は多くいます



▶ 継続での回答をお奨めします

- 調査票には**前回の回答が差し込まれる**ため、継続回答で回答負担が減ります
- 初回は★3に到達しなくても、継続回答することで★3に到達しやすくなります

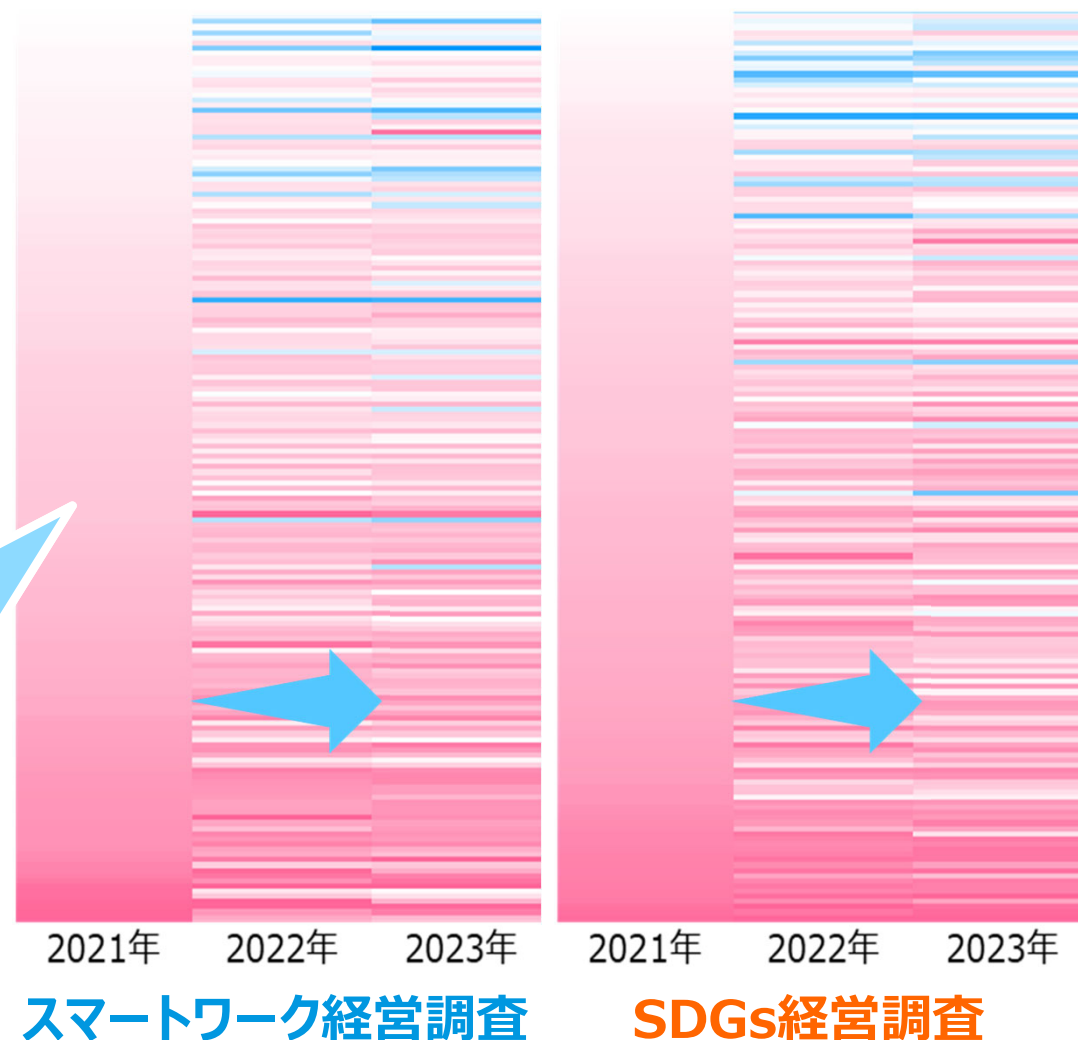
2021年調査時、両調査で偏差値50未満だった
3年連続回答企業のその後の偏差値推移



両調査とも3年連続回答し、かつ2021年に★2.5以下（偏差値50未満）だった174社のうち、

- ・スマートワーク経営調査では**23社**
- ・SDGs経営調査では**28社**

が2023年には★3以上を獲得しています



- 日経リサーチ SDGs経営調査/スマートワーク経営調査特設サイト
https://www.nikkei-r.co.jp/service/survey/smartwork_survey/
- 日経SDGs経営調査アーカイブ
https://www.nikkei-r.co.jp/service/survey/sdgs_survey/result/
- 日経Smart Workプロジェクト
<https://smartwork.nikkei.co.jp/>

調査に関するお問い合わせ先

日経リサーチ 編集企画部
日経サステナブル総合調査事務局



03-5296-5198



sw-survey@nikkei-r.co.jp